

地域の図書館が誰でも利用しやすい書籍・電子書籍をPRするためにできることを

読書工房 代表、専修大学文学部 講師
成松 一郎

読書バリアフリー法がめざす読者が「利用しやすい書籍」の普及

2019年6月に成立した「視覚障害者等の読書環境の整備の推進に関する法律（読書バリアフリー法）」第3条には、基本理念として次のような文言があります。

- 一 視覚障害者等が利用しやすい電子書籍等が視覚障害者等の読書に係る利便性の向上に著しく資する特性を有することに鑑み、情報通信その他の分野における先端的な技術等を活用して視覚障害者等が利用しやすい電子書籍等の普及が図られるとともに、視覚障害者等の需要を踏まえ、引き続き、視覚障害者等が利用しやすい書籍が提供されること。
- 二 視覚障害者等が利用しやすい書籍及び視覚障害者等が利用しやすい電子書籍等（以下「視覚障害者等が利用しやすい書籍等」という。）の量的拡充及び質の向上が図られること。
- 三 視覚障害者等の障害の種類及び程度に応じた配慮がなされること。

ここでいう「視覚障害者等が利用しやすい書籍等」とは、同法第2条2項で、以下のよう定義されています。

この法律において「視覚障害者等が利用しやすい書籍」とは、点字図書、拡大図書その他の視覚障害者等がその内容を容易に認識することができる書籍をいう。

公益社団法人日本図書館協会の統計によると、日本の公共図書館は、2019年4月1日現在3,303館あります。^{（注1）}

従来、障害のある利用者向けに公共図書館が蔵書している図書として、とくに代表的なのは「大きな文字の本」でした。多くの公共図書館では、「大活字本コーナー」専用の棚を比較的入口に近いところに設置しているので、自然な形で目にする機会

が多いと思います。

しかし、大きな文字の本以外のバリアフリー図書（点字図書、点字つきさわる絵本、音訳図書など）については、特定の棚が設けられていなかったり、障害者サービス用資料と位置づけられ、一般に貸出をしていないケースも見られるため、認知度はきわめて低いものと思われます。

国立国会図書館が、2017年に実施した公共図書館へのアンケート調査（回答館1,152館）によると^(注2)、大きな文字の本の蔵書率が85.6%に対して、点字絵本が66.6%、さわる絵本・布の絵本がちょうど5割、音訳図書はおよそ4割弱という状況で、マルチメディアDAISY図書にいたっては、177館・15.4%にとどまっています。（「わいわい文庫活用術8」5ページ参照）

これは、マルチメディアDAISY図書が、著作権法第37条3項の規定（視覚障害者等のための複製等）を適用して製作されることが多いため、館内でPRのため再生したり、一般の利用者に貸出をすることがむずかしいという事情も影響していると考えられます。

わいわい文庫ブルー版発行の意義

「わいわい文庫」には、出版社が発行している書籍を媒体変換しているものだけではなく、伊藤忠記念財団がオリジナルで製作している作品や、あらかじめ著作権者の許諾を得て、障害のある人以外にも広く閲覧していただける作品が多く含まれていて、区別しやすいように、Ver.BLUE（ブルー版）として、青いレーベルのCDに収録されています。



わいわい文庫通常版



わいわい文庫ブルー版

「わいわい文庫活用術」には、2012年以降、9年にわたって、学校現場や公共図書館で「わいわい文庫」の活用事例が豊富に紹介されていますが、ブルー版の活用事例がとて多いのが特徴的です。

私は、「わいわい文庫」の中でも、「日本昔話の旅シリーズ」は、マルチメディアDAISY図書としての特長を生かしたシリーズとして、たいへん評価しています。

このシリーズは、2014年から伊藤忠記念財団が全国の都道府県立図書館に協力をよびかけて実現したもので、第1弾の鳥取県を皮切りに、約5年がかりで47都道府県のおはなしが揃ったという力作です。

同じおはなしを標準語バージョンと、方言バージョンで聞き比べができるというのは、一般書籍ではできない貴重な資料になっていると思います。



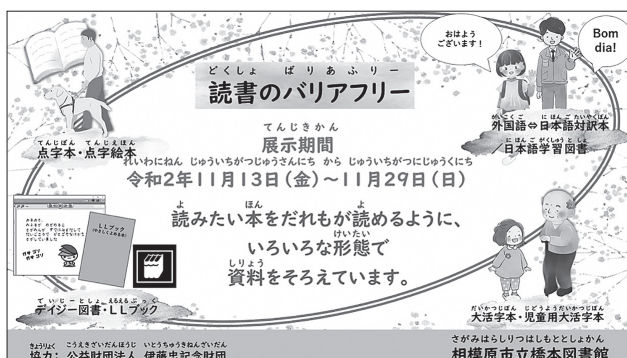
愛媛県立図書館

バリアフリー資料展を開催した図書館へのアンケート回答から

2020年伊藤忠記念財団が、全国の図書館によびかけ、趣旨に賛同した全国35館が「バリアフリー資料展」を開催しました。



神奈川県 相模原市立橋本図書館



三重県立図書館

バリアフリー資料展開催後、図書館から寄せられたアンケートには、各図書館がどのような工夫を行ったのか、自由記述してもらっています。

それによると、たとえば、字幕・音声ガイドつき映画を同時上映したり、ディスレクシアに関する講演会を開催したりすることによって、障害のある当事者や

関係者の来館を増やす工夫を行った図書館や、「見えないってどんなこと」というタイトルをつけて、音訳・点訳・立体コピー体験を行う図書館、あるいは障害者アート絵画展を同時開催する図書館などがありました。

また、バリアフリー資料展を開催してみたの感想について記述してもらったところ、以下のような効果が報告されました。

<障害のある人、支援する人たちへの周知につながる>

- ・マルチメディアDAISY図書の体験会には、市内の学校の学校司書や学習障害のある人を支援する人たちに多く参加していただき、図書館事業の理解につながったと感じています。
- ・展示に合わせて、バリアフリーコーナーを新設しました。従来、大活字本コーナーに並べていた大活字本をバリアフリーコーナーに配架したところ、貸し出しが増えました。そして、マルチメディアDAISY図書も配架してみたところ、障害者サービスの利用者自体も増えました。
- ・障害者サービスの新規登録や、マルチメディアDAISY図書の貸出しにつながりました。

<子どもやお年寄りなど一般の人への周知につながる>

- ・昔話の旅シリーズを上映したところ、映像と音に、小さなお子さんから高齢者まで引きつけられ、みなさん興味をもって見てくださいました。
- ・通りがかりの人も足をとめて、ご覧になっていて、バリアフリー資料全般に関心をもっていただくきっかけになったと思います。
- ・マルチメディアDAISY図書の操作やリーディングトラッカーに興味をもつ子どももいて、良い周知の機会になりました。
- ・介護の勉強をしている高校生たちが、熱心に見ていました。
- ・児童書フロアにタブレット端末を置き、自由閲覧を実施。多くの子どもたちと保護者が興味深そうに見ていました。

<教育や福祉機関との連携が実現>

- ・教育センター職員および県内図書館員研修会で展示を実施。テーマは「ディスレクシア」で、専門家の講義の後の展示は効果的であった。
- ・障害者週間に実施したことで、市の障害者福祉担当部門と情報共有ができた。

<図書館スタッフへの効果>

- ・市民に障害者サービスを周知し、利用を促進する効果があっただけでなく、図書館サイドとしても、「見せ方」「知らせ方」を学ぶ場としての意義が感じられました。

- ・ふだんは、障害者を対象にサービスを紹介しているが、今回はすべての利用者を対象に開催し、今後読書が困難になった場合でもさまざまな読書の方法があることを伝えることを目指しました。それによって、図書館員自身が障害者サービスについてあらためて見直すことができました。

これからの課題

冒頭でもふれましたが、読書バリアフリー法の理念である誰でも「利用しやすい書籍」の量的拡充や質の向上を目指すうえで、公共図書館や学校図書館の果たす役割は大きいものがあります。

その第一歩として、伊藤忠記念財団の協力を得て、全国の公共図書館が「バリアフリー資料展」を開催したことは、さまざまな障害のある人たち、それを支援する立場の人たちの図書館利用を推進することにつながるとともに、一般の図書館利用者への啓発につながったと思います。そして、それが図書館員自身のスキルアップにもつながっていたことがわかります。

最後に、アンケートで指摘された課題について、いくつかご紹介しておきます。

- ・読書バリアフリー法が成立し、少しずつ環境整備が進んでいますが、まだ視覚障害者中心の印象があります。さまざまな読みに障害がある方に向けて、マルチメディアDAISY図書をお知らせしていきたいと思います。
- ・バリアフリー資料を「見て」「聞いて」「さわって」理解を深めてもらう計画をさらに進めていきます。今回は、コロナ禍のため、多くの感染対策が必要でしたが、今後もイベントを行う際は、安全対策を第一に考えていきます。
- ・学校で開催した司書ブックトークでわいわい文庫を紹介したところ、多くの子どもたちが大変興味を持ち、体験することにつながりました。来年度は、町内の小中学校へ持参し、多くの子どもたちに触れてもらう計画を立てています。
- ・コロナ禍が落ち着いたら、特別支援学校を訪問し、バリアフリー資料の紹介や、卒業生にもわいわい文庫を紹介し、図書館利用につなげていきたいと思います。
- ・障害がある子どもとない子どもが、一緒にマルチメディアDAISY図書に触れる機会を作るとよいと思いました。

注1 公共図書館集計(2019年) 日本図書館協会

http://www.jla.or.jp/Portals/0/data/iinkai/chosa/nihon_no_toshokan2019pub1.pdf

注2 公共図書館における障害者サービスに関する調査研究(カレントアウェアネス・ポータル 国立国会図書館)

<https://current.ndl.go.jp/report/no17>